

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和3年度

施策コード	723	施策	地域におけるスポーツの振興
管理事業	スポーツ施設事業	所管部局	都市魅力部

1	所管 室課	文化スポーツ推進室	事業名	スポーツ施設利用促進事業		
事業概要						
スポーツ施設利用促進						
活動実績 ・令和３年度末のオーバス利用登録者数 11,693人 ・利用件数（抽選申込、抽選取消、空き利用申請、利用取消） 193,979件 ・空き情報照会件数（利用登録者の他、未登録者も利用可） 1,662,680件			年度	R2	R3	評価の視点
			決算額（千円）	9,270	9,273	※課題があるものは■
			一般財源の比率（％）	88.9	92.0	☐ 市民ニーズ、社会的役割
			事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			☐ 有効性
			大阪府内20自治体（R3現在）で共同運営することでシステムを維持管理しているが、今後のシステムの在り方や契約方法について検討が必要である。 また、口座振替で後納することにより、全体からすれば一部ではあるが、滞納や徴収不能が発生することが課題である。			☐ 効率性
						☐ 公平性
			■ 持続可能性			
			今後の実施計画の方向性・内容			
			継続			

2	所管 室課	文化スポーツ推進室	事業名	スポーツグラウンド等管理事業		
事業概要						
スポーツグラウンド等管理（指定管理者施設管理）						
活動実績			年度	R2	R3	評価の視点 ※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
桃山台スポーツグラウンド屋根及び外壁改修工事、南正雀スポーツグラウンド夜間照明設備改修工事を実施した。 （１）スポーツグラウンド 合計 利用人数：179,731人 使用料収入：22,379,965円 ・中の島スポーツグラウンド 計60,387人 （野球場23,849人 テニスコート32,502人 多目的グラウンド4,036人） ・桃山台スポーツグラウンド 計41,438人 （野球場22,266人 テニスコート19,172人） ・山田スポーツグラウンド 計23,221人 （野球場9,639人 テニスコート13,582人） ・南正雀スポーツグラウンド 計29,519人 （テニスコート29,519人） ・高野台スポーツグラウンド 計25,166人 （野球場25,166人）			決算額（千円）	96,029	187,785	
			一般財源の比率（％）	74.9	69.0	
			事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 施設や設備・機器の老朽化が進んでおり、安定的な運営のためには、財源確保も含め、計画的な維持補修により施設の長寿命化を図る必要がある。			
			継続			

3	所管 室課	文化スポーツ推進室	事業名	市民体育館管理事業	
事業概要					
市民体育館管理（指定管理者施設管理）					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点 ※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、 社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性 今後の実施計画 の方向性・内容
山田市民体育館給湯設備改修工事及び受変電設備改修工事、目俣市民体育館空調設備工事の ほか経年劣化に伴う改修や設備更新を実施した。 （1）市民体育館 合計 利用人数：353,127人 使用料収入：46,915,570円 ・片山市民体育館 計76,222人 （個人使用40,244人 専用使用14,371人 教室参加者20,566人 大会参加者1,041人） ・北千里市民体育館 計56,208人 （個人使用30,543人 専用使用11,869人 教室参加者12,200人 大会参加者1596人） ・山田市民体育館 計76,895人 （個人使用37,115人 専用使用14,866人 教室参加者23,954人 大会参加者960人） ・南吹田市民体育館 計50,437人 （個人使用31,380人 専用使用5,121人 教室参加者13,612人 大会参加者324人） ・目俣市民体育館 計93,365人 （個人使用54,898人 専用使用18,704人 教室参加者18,555人 大会参加者1,208人）		決算額 （千円）	654.392	633.875	
		一般財源の比率（％）	90.0	88.8	
				事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題 計画的な施設管理や教室のプログラムサービスを 行い、健康づくりや生涯スポーツ振興の場として幅 広い層に利用されている。 施設や設備・機器の老朽化が進んでおり、安定的 な運営のためには、財源確保も含め、計画的な維持 補修により施設の長寿命化を図る必要がある。	
				継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度	令和3年度
--------	-------

施策コード	723	施策	地域におけるスポーツの振興
管理事業	スポーツ施設事業	所管部局	都市魅力部

4	所管 室課	文化スポーツ推進室	事業名	市民プール管理事業	
事業概要					
市民プール管理（指定管理者施設管理）					
活動実績 片山市民プール50mプール等改修工事及び北千里市民プール仮設家屋の修繕を実施した。 (1) 市民プール 合計 利用人数：71,190人 使用料収入：15,148,650円 ・片山市民プール 計71,190人 大人56,413人 小人14,777人 (新型コロナウイルス感染症の影響により屋内のみ開場、夏期屋外プール休場) ・北千里市民プール 0人 (新型コロナウイルス感染症の影響により休場)		年度	R2	R3	評価の視点 ※課題があるものは■
		決算額（千円）	161,580	207,744	
		一般財源の比率（％）	91.7	92.7	■ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			
		低廉なレクリエーションの場、健康づくりやスポーツ振興の場として家族連れや子どもを中心に幅広い層に利用されている。 施設や設備・機器の老朽化が進んでおり、安定的な運営のためには、財源確保も含め、計画的な維持補修により施設の長寿命化を図る必要がある。 今後、屋外プールのあり方について検討が必要である。			
継続					

5	所管 室課	文化スポーツ推進室	事業名	武道館管理事業	
事業概要					
武道館管理（指定管理者施設管理）					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点
給湯設備改修工事及び換気ファン修繕等を実施した。		決算額（千円）	98,196	105,609	
・ 武道館 合計 利用人数：50,877人 使用料収入：8,820,988円 （個人使用21,087人 専用使用14,905人 教室参加者 14,377人）		一般財源の比率（％）	92.8	91.6	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			☐ 有効性
		武道に関する専門的な施設として小学生から高齢者まで幅広い層に利用されている。 施設や設備・機器の老朽化が進んでおり、安定的な運営のためには、財源確保も含め、計画的な維持補修により施設の長寿命化を図る必要がある。			☐ 効率性
					☐ 公平性
			■ 持続可能性		
			今後の実施計画の方向性・内容		
			継続		

6	所管 室課	文化スポーツ推進室	事業名	総合運動場管理事業		
事業概要						
総合運動場管理（指定管理者施設管理）						
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点	
受変電設備改修工事及び地下駐車場ポンプ制御盤修繕等を実施した。 ・総合運動場 合計 利用人数：94,947人 使用料収入：11,518,350円 （個人使用43,371人 専用使用29,912人 教室参加者16,520人 大会参加者5,144人）		決算額（千円）	98,109	112,466	※課題があるものは■	
		一般財源の比率（％）	87.0	89.7	☐ 市民ニーズ、社会的役割	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			☐ 有効性	
		施設管理や教室のプログラムサービスを行い、健康づくりや生涯スポーツ振興の場として幅広い層に利用されている。 令和元年度にトラックの全天候型及びフィールドの人工芝の改修を実施したものの、施設や設備・機器の老朽化が進んでいるものもあり、安定的な運営のためには、財源確保も含め、計画的な維持補修により施設の長寿命化を図る必要がある。			☐ 効率性	
					☐ 公平性	
					☒ 持続可能性	
					今後の実施計画の方向性・内容	
					継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名